

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

大阪府公安委員会・大阪府警察本部

# 目 次

特 別 推 進 項 目	頁
大阪・関西万博に向けた警察諸対策の推進	1

重 点 目 標	頁
府民の期待と信頼に応える警察活動の推進	2
特殊詐欺の撲滅に向けた総合対策の推進	3
組織的な犯罪を封じ込めるための諸対策の推進	4
子供や女性の安全を守るための諸対策の推進	5
交通死亡事故を抑止するための諸対策の推進	6
地域の安全安心を確保するための地域警察の強化	7
サイバー空間の安全を確保するための諸対策の推進	8
テロ等重大事案の未然防止及び大規模災害等への的確な対応	9
○ 【別添】 参考指標の推移（過去10年）Ⅰ・Ⅱ	

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 大阪・関西万博に向けた警察諸対策の推進

推  
進  
状  
況

### 1 「安全・安心な大阪・関西万博」に向けた効果的な取組の推進

○ 「安全・安心な大阪・関西万博」の実現に向け、体制を強化し、各種警察諸対策を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 会場警察隊開設準備室の設置

令和6年10月、万博対策本部の附置機関として「会場警察隊開設準備室」を設置し、会場内で事件事故等に対応する常駐部隊「会場警察隊」設置に向けた準備、運用等の調整及び各種課題への検討を図りました。

##### ○ 万博警備対策室の設置

令和6年10月、警備第一課の附置機関として「万博警備対策室」を設置し、警備諸対策を推進しました。

##### ○ 大阪府警察2025年日本国際博覧会対策委員会の開催

「大阪府警察2025年日本国際博覧会対策委員会」を定期的に開催し、警備対策、交通対策等の各種課題への必要な対策、効果的な取組等について協議しました。



万博警備対策室発足式

○ 官民一体となったテロ対策、サイバー攻撃対策、交通対策等を協議し推進するなど、本番に向けた関係機関、団体等との更なる緊密な連携の強化を図りました。

#### 【事例】

##### ○ 大阪府テロ対策パートナーシップ協議会の開催

令和6年9月、官民一体となったテロ対策を推進することを目的に、公共交通機関や大規模集客施設等の事業者を集めて設立した「大阪府テロ対策パートナーシップ協議会」を開催し、関係機関との連携強化を図りました。



大阪府テロ対策  
パートナーシップ協議会

##### ○ 企業と連携したサイバー対策の実施

令和6年9月、万博開催に際して、サイバー空間における脅威やその対策等の危機意識を共有するため、警察庁とともに関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会会員に対して講演を行い、連携の強化に努めました。

##### ○ 交通諸対策に関する連携の強化

会場へ向かう道路を中心に交通量の増加が見込まれることから、交通渋滞、交通事故の発生を未然に防止し、安全で円滑な来場者輸送を確保するため、会場周辺における違法駐車対策及び交通容量拡大に向けた道路環境整備等について、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会及び道路管理者と連携し対策を検討しました。

##### ○ 関係機関・団体等との緊密な連携の強化

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会主催の「安全対策協議会」や「来場者輸送対策協議会」に出席し、警備対策や交通対策に関する協議を行いました。また、鉄道事業者主催の「大阪府鉄道警察連絡協議会」に出席し、鉄道事業者等と雑踏対策及びサイバー攻撃対策等の情報共有を行い、連携の強化に努めました。

○ 企業と連携して啓発物品を作成し、各種警察諸対策について府民や事業者等への理解と協力を求める広報啓発活動を実施しました。

#### 【事例】

##### ○ 広報啓発物品による広報の実施

セキスイハイム近畿株式会社と連携して広報啓発用のクリアファイルを作成し、各種イベントで配布するなど大阪・関西万博の開催に向けた機運の醸成を図りました。



クリアファイル

##### ○ 訪日外国人等向けのウェブサイト特設ページの開設

大阪府警察ウェブサイト内に、万博に来場する訪日外国人等向けの特設ページを開設し、犯罪被害防止、交通事故防止等各種対策を呼びかけました。

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 府民の期待と信頼に応える警察活動の推進

推  
進  
状  
況

### 1 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策の推進

- 府下における犯罪の発生実態を綿密に分析して効果的な警戒、検挙活動を推進しました。
- 「性犯罪」、「特殊詐欺」及び「自動車関連犯罪」を大阪重点犯罪に指定し、犯人の検挙と犯罪被害の防止の両面にわたる対策を強力に推進しました。
- 「大阪府安全なまちづくり推進会議」の開催等、自治体、事業者、地域住民等と連携・協働したオール大阪の体制による被害防止啓発活動等の取組を推進したほか、防犯カメラの設置促進等による防犯環境の整備を推進しました。

### 2 重要犯罪・重要窃盗等への的確な対処

- 重要犯罪・重要窃盗事件発生時には、連続性や広域性、社会への影響などを考慮しながら、捜査員を迅速に、かつ重点的に投入し、「捜査・鑑識・科学」及び情報解析が一体となった組織総合力を発揮した速攻捜査を推進しました。
- 発生実態の分析及び関係所属との情報の共有に基づいた先制的な捜査及び警戒活動を推進し、同種事案の被害の続発及び未然防止に努めました。
- 贈収賄事件や悪質な選挙違反事件等の政治や行政をめぐる不正事案や、金融・企業犯をはじめとする経済をめぐる不正事案について摘発のための捜査を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 強盗殺人事件の検挙

中央区内の貴金属店で発生した強盗殺人事件について、関係所属と情報共有を図り逃走方法等を予測した重点的な捜査体制を確立したことにより被疑者を検挙しました。

### 3 府民からの相談等への迅速・的確な対応及び適切な犯罪被害者等支援の推進

- 府民から寄せられた相談事案等に対しては、人権に配慮しつつ、相談者の立場に立った受理を行うとともに、迅速かつ的確な組織的対応に努めました。
- 心理職の部内カウンセラーを専任配置し、被害直後の犯罪被害者等に対する急性期対応の充実を図り、犯罪被害者等に寄り添った支援に努めました。加えて、遺族訪問時の供物購入費用の支出制度を新設するなど、犯罪被害者等施策を充実させたほか、大阪府被害者支援会議（代表者会議）を開催するなど、関係機関・団体との連携の強化を図りました。

### 4 社会情勢の変化に的確に対応するための組織運営の推進

- 大阪・関西万博に向けた警察諸対策のほか、特殊詐欺の撲滅や匿名・流動型犯罪グループへの対応、暑熱環境下での勤務等、様々な課題が山積する中、業務の合理化・効率化に資する施策を推進し、変化する社会情勢に的確に対応できる組織運営に取り組みました。
- 「大阪府警察におけるワークライフバランスの推進のための取組計画」に基づき、職員の経験や能力が最大限に発揮できる職場環境づくりに努めました。

#### 【事例】

##### ○ ワークライフバランス推進のための取組

職員の年次休暇の取得を促進するため、定時退庁日の設定や月一年休（1月に1日以上）の年次休暇を取得することの推奨などの取組を推進しました。また、警察署に勤務する警察官の育児参加を促進するため、本部から警察署に支援要員を派遣するなど、育児休業を取得しやすい職場環境づくりに努めました。

- 将来の大阪府警察を担うに相応しい人材を確保するため、大学において護身術教室や似顔絵体験等を行う出張型体験セミナーを初めて開催し、積極的な採用活動を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 出張型体験セミナーの開催

大学に出向き行うことで参加者の負担軽減を図り、警察を就職先として考えていなかった若者にも興味を持ってもらう機会を設けることで、受験希望者の拡大に繋がりました。



【令和6年大阪重点犯罪の認知・検挙状況】①～④

	全刑法犯	子供や女性を狙った性犯罪				特殊詐欺	自動車関連犯罪		
		不同意性交等	不同意わいせつ	公然わいせつ	痴漢		自動車盗	車上ねらい	部品ねらい
認知件数	81,403	388	841	329	計上なし	2,658	417	3,064	2,504
前年比	+1,255	+100	+45	-24	計上なし	+2	-30	-952	-104
検挙件数	21,347	273	620	249	156	497	96	722	489
前年比	-55	+56	+37	-6	-91	-133	-4	+26	+233
検挙人員	15,991	252	482	232	147	209	48	215	92
前年比	+225	+60	+13	-2	-77	-26	-29	+25	-17

※特殊詐欺の令和5年の統計数値は確定値、令和6年の統計数値は暫定値である。  
 ※捜防条例違反（痴漢）の認知件数は、特別法犯に犯罪統計規則上の認知情報票が存在しないので、計上なし。

【重要犯罪の認知・検挙状況】⑤～⑧

罪種(手口)	認知件数				検挙件数			
	令和5年	令和6年	増減 件数	増減率	令和5年	令和6年	増減 件数	増減率
殺	137	148	11	8.0	135	123	-12	-8.9
強	209	201	-8	-3.8	166	172	6	3.6
放	106	135	29	27.4	72	84	12	16.7
不同意性交等	288	388	100	34.7	217	273	56	25.8
贈収賄・人身売買	66	67	1	1.5	48	60	12	25.0
不同意わいせつ	796	841	45	5.7	583	620	37	6.3

※令和5年件数の「不同意性交等」は強制性交等の件数を含む。  
 ※令和5年件数の「不同意わいせつ」は強制わいせつの件数を含む。

【重要窃盗犯の認知・検挙状況】⑨～⑫

罪種(手口)	認知件数				検挙件数			
	令和5年	令和6年	増減 件数	増減率	令和5年	令和6年	増減 件数	増減率
侵入盗	1,590	1,497	-93	-5.8	740	713	-27	-3.6
自動車盗	447	417	-30	-6.7	100	96	-4	-4.0
ひったくり	114	145	31	27.2	74	102	28	37.8
すり	345	296	-49	-14.2	54	36	-18	-33.3

※令和5年の統計数値は確定値、令和6年の統計数値は令和7年1月7日付け暫定値である。

注：各指標に記載の①～⑫は、別添に掲示の【参考指標の推移 I】の番号を示す。

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 特殊詐欺の撲滅に向けた総合対策の推進

推  
進  
状  
況

### 1 徹底した取締りの推進

- 迅速・的確な初動対応により実行犯の現場における検挙を徹底するとともに、余罪捜査、犯行グループに対する突き上げ捜査を推進しました。
- 被害者から現金やキャッシュカード等を受け取る受け子を管理するグループの摘発や犯罪収益のマネー・ローンダリングを行う者の検挙活動を強力に推進しました。
- 特殊詐欺捜査課に全国警察と連携を強化し機動的な捜査を行う「特殊詐欺連合捜査室」を設置し、広域にわたる事案への迅速かつ合理的な取締りを推進しました。
- 犯行使用電話や犯行使用口座を無力化する犯行ツール対策、取締りを推進しました。

#### 【事例】

- **現役の暴力団幹部による受け子管理グループの検挙**  
受け子被疑者からの突き上げ捜査を徹底し、受け子を管理するグループの首魁である現役暴力団幹部を検挙し、同グループを壊滅させました。
- **犯罪収益のマネー・ローンダリング役の検挙**  
暗号資産口座を不正に開設して、特殊詐欺の被害金の一部を暗号資産に交換するなど、犯罪収益のマネー・ローンダリングを行っていた被疑者を検挙しました。
- **犯行使用電話番号を提供していた通信事業者の摘発**  
還付金詐欺や架空請求詐欺に使用された電話番号を多数提供している悪質通信事業者の実質経営者である指定暴力団組員を検挙しました。

### 2 発生実態に即した被害防止活動の推進

- 様々な情報発信ツールを利用してタイムリーな注意喚起を実施したほか、子や孫世代等の幅広い年代に対して、高齢者を被害から守るための広報啓発活動を行いました。
- 自治体等と連携した広報啓発活動や防犯機能付電話機の普及促進、コールセンター等を活用した府民への注意喚起の実施、国際電話不取扱受付センターへの利用休止申込みの促進等の被害防止に向けた活動を推進しました。
- 特殊詐欺の発生状況を踏まえ、官民一体となった取組をさらに強化するため、実効性のある対策を盛り込んだ「大阪府安全なまちづくり条例」の改正に向けた検討を行いました。

#### 【事例】

- **SNS等を活用したタイムリーな注意喚起の実施**  
安まちアプリ、X（旧Twitter）、防犯速報等により、発生実態に即したタイムリーな注意喚起を行いました。
- **(公財)日本相撲協会と連携した広報啓発活動の実施**  
公益財団法人日本相撲協会と共同で制作した特殊詐欺被害防止動画を、大阪府警察ウェブサイト、YouTube等で放映し、被害防止に向けた対策を呼びかけました。



広報啓発動画

### 3 金融機関、コンビニエンスストア、自治体等と連携した水際対策の推進

- 金融機関やコンビニエンスストアにおき実戦的な声掛け訓練、広報啓発活動、警察への積極的な通報の促進等、官民一体となった被害防止対策を推進しました。

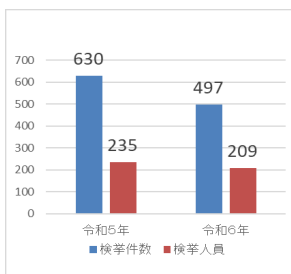
#### 【事例】

- **官民一体となった「ストップ！ATMでの携帯電話」運動の推進**  
金融機関等と連携し、「ATMでの携帯電話の通話は、しない、させない」ことを社会に定着させることを目的として各種広報啓発活動を推進しました。

参  
考  
指  
標

【特殊詐欺の認知・検挙状況】⑰～㉓

令和6年	認知件数			増減率	被害金額(円)			増減率
	既達	未達	増減率		被害金額	増減率		
特殊詐欺全体	2,658	2,527	131	0.1%	6,382,758,940	74%		
オレオレ詐欺	393	376	17	236%	2,941,453,000	374%		
預貯金詐欺	101	89	12	-75%	82,731,000	-80%		
架空料金請求詐欺	707	643	64	1%	1,147,997,000	10%		
融資保証金詐欺	25	25	0	257%	22,775,000	48%		
還付金詐欺	1,149	1,148	1	21%	1,603,659,000	66%		
金融商品詐欺	10	10	0	233%	61,714,000	151%		
交際あっせん詐欺	2	2	0	100%	400,000	100%		
ギャンブル詐欺	1	1	0	100%	12,883,000	100%		
その他の特殊詐欺	49	27	22	1125%	212,872,000	1512%		
キャッシュカード詐欺	221	206	15	-53%	296,274,940	-47%		



【特殊詐欺の未然防止件数】

	令和5年中	令和6年中	増減
未然防止件数	2,267	1,917	-350
未然防止金額 (千円)	97,201	150,211	+53,010

※ 上記の対策等を講じましたが、認知件数及び被害金額ともに前年と比較すると増加しました。  
注：各指標に記載の⑰～㉓は、別添に掲示の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 組織的な犯罪を封じ込めるための諸対策の推進

推  
進  
状  
況

### 1 「匿名・流動型犯罪グループ」等特殊詐欺等に関する勢力に対する総合対策の推進

- SNS型投資詐欺や犯罪収益等のマネー・ローンダリングを行っていた犯罪グループを検挙する等、匿名・流動型犯罪グループの取締りを推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 大規模SNS型投資詐欺グループの摘発

バイナリーオプション取引に関する助言指導料や商材購入費の名目で、現金を騙し取った詐欺事件で、SNS上で投資を勧誘していた主犯格の男らを検挙しました。

##### ○ 大規模マネー・ローンダリンググループの摘発

金融機関からだまし取った架空の法人名義の口座を悪用して犯罪収益等のマネー・ローンダリングを繰り返した組織的犯罪処罰法違反等事件で、主犯格の男らを検挙しました。

### 2 暴力団総合対策の推進

- 六代目山口組と絆會を特定抗争指定暴力団等に指定して取締りを強化したほか、暴力団対策法等を適用して構成員を検挙する等、暴力団排除活動を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 暴力団幹部らによる詐欺・暴力団対策法違反事件の検挙

暴力団組員の身分を隠してマンション1室を借りる契約を結んだ上、組事務所として使用した詐欺・暴力団対策法違反事件で、山口組系暴力団組長らを検挙しました。

##### ○ 暴力団対策法違反事件の検挙

襲撃する目的で特定抗争指定暴力団の組事務所付近をうろついた暴力団対策法違反事件で、対立する山口組系暴力団幹部らを検挙しました。

### 3 薬物犯罪対策及び外国人組織犯罪対策の推進

- 関係機関や他府県警察と連携して、覚醒剤や大麻等の規制薬物の密輸・密売に対する取締りを強力に推進し、密輸・密売組織を壊滅に追い込みました。
- 外国人犯罪組織を大阪に根付かせないために、組織的な外国人犯罪に対する取締りを推進したほか、技能実習生や留学生の受入企業、学校等と連携して、在留外国人が犯罪に巻き込まれたり、加担しないための広報啓発活動を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ ビニールハウス等を使用した大規模大麻栽培事件の検挙

ビニールハウス等で大麻栽培を行っていた大麻取締法違反事件で、男らを検挙して大量の大麻を押収し、流通を阻止しました。

##### ○ 不正決済による電子計算機使用詐欺事件の検挙

不正なクレジットカード決済により加熱式たばこをだまし取った詐欺事件で、外国人犯罪グループを検挙しました。



押収した大麻

### 4 犯罪収益対策の推進

- 歓楽街における違法賭博店や風俗営業店の摘発等を行うとともに、組織的犯罪処罰法を積極的に適用し、犯罪収益の剥奪に着目した取締りを推進しました。

#### 【事例】

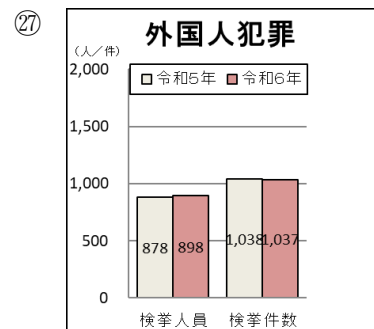
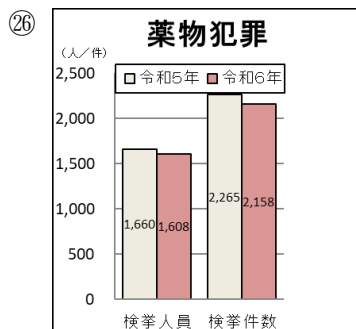
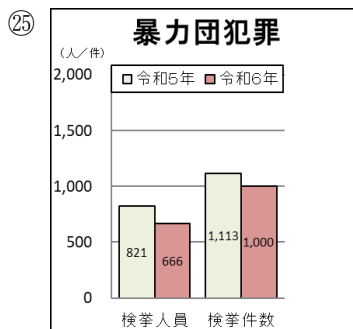
##### ○ 違法オンラインカジノにかかる組織的犯罪処罰法違反事件の検挙

違法オンラインカジノの賭け金を合法的な収益と装ってマネー・ローンダリングした組織的犯罪処罰法違反事件で、収納代行業者の女らを検挙しました。

##### ○ ホストクラブにかかる風営法違反事件の検挙

メンズコンセプトカフェと称し、無許可でホストクラブを営業した風営法違反事件で、経営者の男らを検挙するとともに犯罪収益を剥奪しました。

参  
考  
指  
標



注：各指標に記載の②⑤～②⑦は、別添に掲示の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 子供や女性の安全を守るための諸対策の推進

推  
進  
状  
況

### 1 人身安全関連事案への迅速かつ的確な組織的対応の推進

- 依然として高水準で推移する人身安全関連事案に対しては、警察署の体制を強化するとともに、ストーカー被害者等に貸し出す携帯用緊急通報装置の配備数を大幅に増やすなど、被害者等の安全確保を最優先とした迅速かつ的確な組織的対応を図りました。
- 児童虐待が疑われる事案を認知した際は、行為者と児童を一時的に分離した上で、早期に児童の安全を確認し、速やかに児童相談所に通告するなど、安全確保の措置を徹底しました。
- 行方不明事案を認知した際は、事件性を念頭に置き、関係所属と連携の上、早期に捜索体制を確立して行方不明者を発見保護するなど、組織的対応を講じました。

#### 【事例】

##### ○ 警察独自の家庭訪問活動における児童虐待の早期発見及び再被害防止

当府警では平成29年から、府警の独自施策として、警察が児童虐待の通告をした家庭について、児童相談所等からの情報等をもとに、警察でリスク分析をし、注意が必要と認めた家庭への個別訪問を実施しています。令和6年中も同個別訪問を行い、児童虐待の疑いを認めた場合は、児童相談所と連携して早期に児童を保護するなど再被害防止を図りました。

##### ○ 行方不明児童の早期発見保護

女子中学生の行方不明事案を認知後、家族等の事情聴取から事件性が窺われたため、早期に関係部門が連携した捜索体制を構築し、広範囲に及ぶ調査や捜索活動の結果、アプリで知り合った成人男性方において、発見保護しました。

### 2 性犯罪及び声掛け等事案に対する諸対策の推進

- 性犯罪及び声掛け等の性犯罪前兆事案の発生情報を集約・分析し、特定した行為者に対して先制・予防的な検挙又は指導・警告措置を的確に実施しました。
- 学校関係者と連携した防犯教室の開催をはじめ、教職員等参加による実践的な不審者対応訓練や関係団体等と連携した小学校周辺、通学路における防犯診断を実施しました。
- 安まちメールやYouTube等の各種広報媒体を活用した地域安全情報の発信や地域住民、事業者、自治体等と連携した広報啓発活動を実施し、府民の自主防犯行動を促進しました。

#### 【事例】

##### ○ 事業者等と連携した広報啓発活動の実施

大学関係者と連携し、教員を目指す大学生に対する防犯講義、不審者対応訓練等を実施するなど、子供の安全確保に関する取組を推進したほか、事業者と連携して小学生に人気の高いキャラクターやアーティストがデザインしたポケットティッシュ等の広報啓発物品を作成し、商業施設やイベント等で配布するなど、被害防止対策を推進しました。

### 3 少年の健全育成を図る諸対策の推進

- 少年による大麻等の薬物事犯や、少年が被害者等となる児童買春・児童ポルノ禁止法違反等の福祉犯事件の取締りを強力に推進しました。
- 少年の大麻乱用防止、犯罪加担防止及び福祉犯被害防止を図るため、小・中学校や高等学校で非行防止教室等を実施するとともに、X（旧twitter）やLINE、Instagram等のSNS、街頭デジタルサイネージ等を活用した広報啓発活動を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 少年グループによる大麻使用事犯の検挙

中学校内に大麻等の違法薬物を隠匿し、テレグラムを通じて密売を繰り返していた中、高校生非行グループを大麻取締法違反等で検挙しました。

##### ○ 関係機関等と連携した非行防止等のための広報啓発活動の推進

大阪府、大阪府教育庁、保護観察所、大阪少年補導協会等と連携・協働した「少年非行・被害防止キャンペーン」の実施や事業者の協力により制作した少年の大麻乱用防止等の啓発動画のデジタルサイネージでの放映、「闇バイト」等の犯罪加担防止や「パパ活」等による福祉犯被害防止のためのSNS広告の掲載等、関係機関等と連携した非行防止等のための広報啓発活動を推進しました。

SNS広告



【ストーカー・DV及び行方不明事案の相談等件数】<sup>⑬</sup>

【児童虐待事案通告児童数及び検挙件数】<sup>⑭⑮</sup>

【少年による大麻事犯の検挙件数】<sup>⑯</sup>

【ストーカー・DV及び行方不明事案の相談等件数】	令和5年	令和6年	増減数
ストーカー事案相談受理件数	1,113	1,374	+261
DV事案対応件数	10,777	11,421	+644
行方不明者届出件数	7,762	8,177	+415

	令和5年	令和6年	増減数
通告児童数	13,216	14,215	+999
検挙件数（人）	122(125)	157(162)	+35(37)

	令和5年	令和6年	増減数
大麻事犯	199	191	-8
大麻取締法	197	190	-7
麻薬特例法	2	1	-1

※ 行方不明者届出件数は暫定値である。

注：各指標に記載の⑭～⑯は、別添に掲示の【参考指標の推移 I・II】の番号を示す。

参  
考  
指  
標

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 交通死亡事故を抑止するための諸対策の推進

推  
進  
状  
況

### 1 交通死亡・重傷事故発生実態の分析結果に基づく総合対策の推進

- 交通死亡・重傷事故の多発している幹線道路において速度超過違反の交通指導取締りを強化したほか、交差点において警笛等を活用した指導警告を実施しました。また、二輪車や自転車の指導取締りを推進し、分析結果を反映させた広報啓発活動にも取り組みました。
- 高齢者の交通死亡事故が多発傾向にあったことから高齢者利用施設、関係機関及び企業等と連携し、高齢者の行動変容につながる広報啓発活動や交通安全教育等を強化しました。

#### 【事例】

##### ○ 二輪車の交通事故抑止対策の実施

主要幹線道路を中心に、悪質・危険な速度超過違反に対する交通指導取締りを強化したほか、二輪車セーフティチャレンジについて広報啓発動画を作成し、協力企業やバイク販売店等で放映して参加者を募る等、二輪車運転者の交通安全意識の高揚を図りました。

##### ○ 自転車の交通事故抑止対策の実施

自転車指導啓発重点地区・路線や自転車事故多発交差点における交通指導取締りを推進したほか、自転車乗用中に被害にあった遺族等へのインタビューを収録したヘルメット着用促進に向けた広報啓発動画を作成し、府警ウェブサイトに掲載するほかYouTubeに公開するなど、広報啓発活動を実施しました。

##### ○ 高齢運転者の特性に応じた対策の実施

高齢者講習や運転免許相談等を端緒として把握した運転に不安のある高齢運転者を対象に、運転シミュレーターや俊敏性検査機等を活用した安全運転指導を実施しました。



自転車利用者に対する交通指導取締り状況 速度違反特別取締隊出発式の実施状況 運転シミュレーターを活用した安全運転指導

### 2 悪質・危険運転者に対する交通指導取締り、交通事故事件捜査等の徹底

- 飲酒運転等の悪質・危険な交通違反に重点を置いた交通指導取締りを実施するほか、緻密かつ厳正な捜査によるひき逃げ事件被疑者の早期検挙や危険運転致死傷等事件被疑者の検挙等、悪質危険運転者対策を実施しました。
- 可搬式速度違反自動取締装置を活用し、生活道路や通学路等における速度超過違反等の交通指導取締りを実施しました。
- 特定小型原動機付自転車等の電動モビリティ運転者に対する交通ルールの遵守に向けた指導・啓発、悪質運転者の取締り等を推進しました。
- 本府と警察署が連携を強化し、迅速に運転免許の停止や取消しの行政処分を執行するとともに、重大な交通事故を起こした運転者には、積極的に運転免許の仮停止処分を実施するなど、悪質・危険運転者の早期排除を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 特定小型原動機付自転車等の電動モビリティ対策の実施

大阪市内での大規模な交通指導取締りや電動モビリティ運転者や販売店等に対する広報啓発動画やリーフレットを活用した交通ルールの遵守に向けた広報啓発活動を実施したほか、交通安全講習会等を実施しました。

### 3 安全で快適な交通環境づくりの推進

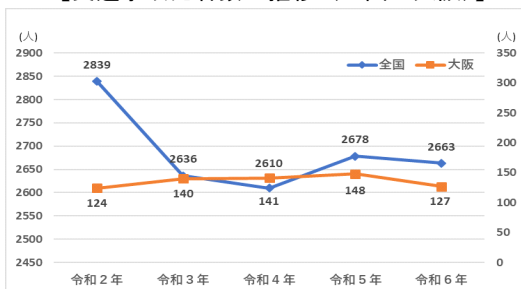
- 交通環境の変化や交通事故発生実態に即した交通規制となるよう道路管理者とともに、「ゾーン30プラス」をはじめとする、道路交通環境の整備を推進しました。
- 駐車実態に即した取締りや、駐車監視員の効果的な運用を実施するとともに、車両の使用制限命令や放置違反金の滞納処分を実施し、使用者責任の追及を徹底しました。

#### 【事例】

##### ○ 交通安全施設の整備

必要性が低下し、かつ老朽化した一灯点滅式信号機については撤去するとともに、一時停止の交通規制を見直すなどの取組を実施しました。また、道路標識等の交通安全施設については、地域住民からの要望等を踏まえた維持管理を推進しました。

【交通事故死者数の推移（全国・大阪）】



【交通事故発生状況（全国・大阪）】

	全国		大阪	
	前年比	前年比	前年比	前年比
発生件数(件)	290,896	-5.5%	24,780	-4.5%
死者数(人)	2,663	-0.06%	127	-14.2%
負傷者数(人)	344,398	-1.3%	28,690	-4.7%
重傷者数(人)	27,281	-5.8%	2,885	-5.6%

※ 交通事故死者数は前年と比較すると21人減少し、全国ワーストを返上しました。

参  
考  
指  
標

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 地域の安全安心を確保するための地域警察の強化

推  
進  
状  
況

### 1 地域の日常生活の安全と平穩の確保

- 事件・事故の発生状況等の地域の実情のほか、地域住民の意見や要望等を踏まえた地域住民に安心感を与える実態に即した警戒・検挙活動を推進しました。
- 職務質問技能指導官等によるロールプレイング教養や現場での同行指導を実施するとともに、動画資料を活用した効果的な教養を推進し、地域警察官の職務質問技能や現場における職務執行能力の更なる向上を図りました。
- 通信指令室が司令塔となり、警察署と本部関係所属が連携した組織的対応を推進することにより、被疑者を早期に検挙する等、被害の拡大防止を図りました。

#### 【事例】

##### ○ 組織的対応による特殊詐欺事件の早期検挙

警察官を騙ったり、息子になりすましてキャッシュカードを窃取する特殊詐欺事件について、事件認知後、迅速に現場臨場し、人員を集中した捜索活動等組織的な初動警察活動を展開した結果、職務質問により、被疑者を検挙しました。

### 2 地域に即した地域安全活動の推進

- 防犯情報等を地域住民に積極的に発信するとともに、巡回連絡等で把握した相談・要望等を組織的に共有して、迅速・的確な対応に努めました。
- 通学路等における地域住民と協働した子供の安全見守り活動等を推進しました。

### 3 地域警察の現場執行力の強化

- 装備品の充実や交番等のセキュリティ強化を図るとともに、実際の受傷事故の検証結果等に基づく教養や訓練を実施し、地域警察の強化を図りました。
- 交番オンラインを活用した業務の合理化・効率化に努めたほか、警察機能を最大限に発揮することを目的とした「交番等の最適化」を推進しました。
- 現場執行力を強化するため、具体的事象を想定した実戦的な訓練を推進しました。

#### 【事例】

##### ○ 「交番等の最適化」計画の推進

警察機能を最大限に発揮できるよう、交番の数や配置を計画的に統合、移転及び新設する「交番等の最適化」に取り組んでおり、令和6年度は、5警察署の5交番を廃止、統合し、令和7年度から警ら連絡所として運用することとなりました。

##### ○ 実戦的訓練・警戒等の実施

府下の鉄道事業者と締結した「鉄道利用者の安全確保に関する包括連携協定」に基づき、鉄道施設内における無差別殺傷事件や不審者対応訓練を実施しました。また、鉄道事業者と連携して、痴漢や暴力行為等の追放を目的とした合同警戒を実施しました。



合同警戒実施時の状況

##### ○ 緊急配備訓練の実施

迅速かつ的確な初動警察活動を展開し、部門横断的な連携により被疑者を早期に検挙する目的で、本部関係所属及び警察署による重要事件発生を想定したブラインド形式の緊急配備訓練を実施しました。



緊急配備訓練時の状況

参  
考  
指  
標

#### 【地域警察官による検挙状況】⑳

年	区分	刑法犯 検挙件数	特別法犯 検挙件数
令和5年		9,329	2,461
令和6年		9,218	2,049
増減		-111 -1.2%	-412 -16.7%

#### 【110番受理状況】㉓、㉔

年	区分	総受理件数	有効通報件数	非有効通報件数
		1日平均	1日平均	1日平均
令和5年		1,183,540	896,128	287,412
		3,243	2,455	788
令和6年		1,147,917	916,305	231,612
		3,136	2,504	632
増減		-35,623 -107	+20,177 +49	-55,800 -156

注：各指標に記載の㉓～㉔は、別添に掲載の【参考指標の推移Ⅱ】の番号を示す。

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## サイバー空間の安全を確保するための諸対策の推進

推 進 状 況

### 1 サイバー空間における脅威に対処するための人的基盤の強化

- 警察職員全体の知識・技能の底上げを図るため、サイバー事案対処能力検定（中級）の取得を促進するほか、サイバー犯罪捜査に関する各種教養を推進しました。
- 専門的な捜査員の育成を図るため、最新の情報通信技術の知識及び高度な技能の取得を目的とした民間企業派遣研修を実施しました。

#### 【事例】

##### ○ 全所属に向けた教養の実施

職員全体の知識・技能の底上げを図るため、全警察署及び警察本部で受講可能なサイバー犯罪捜査に関するリモート巡回教養等を定期的にも実施しました。

##### ○ 競技会の開催

職員の対処能力の向上を図るため、全警察署及び警察本部各部対抗によるサイバーセキュリティに関する知識や技術を競う「サイバーセキュリティ競技会」を実施しました。

##### ○ オンライン教養の実施

専門捜査員の育成のため、情報通信技術に関して高度な知見を有するサイバーセキュリティアドバイザー（国立大学法人大阪大学教授）によるオンライン教養を実施しました。

### 2 サイバー事案への対処の強化

- サイバー事案は、匿名性が高く、地理的・時間的な制約を受けない特性から、迅速かつ多角的な証拠収集と徹底した解析・分析による取締りを推進するとともに、事案の認知・捜査・被害防止対策等の各段階において、各部門や関係機関と連携を強化し、対処に当たりました。

#### 【事例】

##### ○ 新解析用資機材の導入

新たに、高度なスマートフォン解析用資機材を導入し、運用を開始したことにより、抽出データの解析時間の縮減など、解析の効率が大幅に向上しました。

##### ○ 複数都道府県に関するサイバー事案の検挙

大手銀行のネットバンキングシステムに他人名義のIDとパスワードで不正アクセスした被疑者グループについて、関東管区警察局サイバー特別捜査部及び16都道府県警察での共同捜査により、同グループ構成員9名を検挙しました。

さらに突き上げ捜査を進めた結果、犯行当時、フィリピンに滞在し、同国から指示を出していた同グループのリーダー格を検挙しました。

### 3 サイバー空間を利用する府民の安全安心の確保

- サイバー防犯ボランティアと連携し、小学生を対象としたSNS等の安全な利用に関する防犯教室を実施（46回、約4,900名）しました。
- ランサムウェア等サイバー攻撃による被害防止セミナー等を実施（50回）しました。
- 相談や通報等を通じてサイバー事案の実態等を把握するとともに、その実態等に応じた被害の未然防止や拡大防止対策について、安まちアプリやX（旧Twitter）等の各種広報媒体を活用し、タイムリーな注意喚起を行いました。

#### 【事例】

##### ○ 事業者と連携した広報啓発活動の推進

協力企業のキャラクターを活用したポスターや広報啓発動画等を制作するとともに、同大阪ステーションシティアトリウム広場において、サイバーセキュリティに関する広報啓発のキックオフイベントを実施しました。

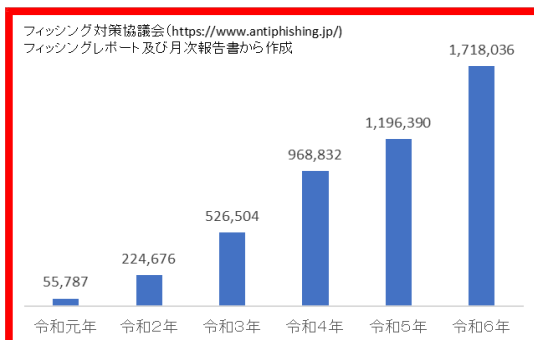
##### ○ サイバーセキュリティセミナーの実施

ランサムウェア被害の増加を受けて、中小企業に向けた被害の未然防止・拡大防止に関するセミナーを実施しました。



セミナー開催時の状況

【フィッシング報告件数の推移（全国）】（件）



実在する企業・団体等や官公庁を装うなどしたメール又はショートメッセージを送り、その企業等のウェブサイトに見せかけて作成した偽のウェブサイト（フィッシングサイト）を受信者が閲覧するよう誘導し、当該フィッシングサイトでアカウント情報やクレジットカード番号等を不正に入手する「フィッシング」が右肩上がりが増加している。

参 考 指 標

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## テロ等重大事案の未然防止及び大規模災害等への的確な対応

### 推 進 状 況

#### 1 情報収集活動、各種対策及び違法行為に対する取締りの推進

我が国に対する国際テロの脅威が継続する中、国益を害する対日有害活動、テロ等を引き起こすおそれのある勢力、世界的規模で発生するサイバー攻撃等に関する情報収集・分析を強化し、実態解明の推進、各種違法行為に対する厳正な取締りに努めたほか、先端技術情報の流出防止に向けた取組を推進しました。

##### 【事例】

##### ○ ロシア人貿易業者による外国為替及び外国貿易法違反事件の検挙

我が国では国際社会と連携して、ロシアに対する経済制裁を強化しているところ、水上バイク等を韓国向けと偽り、経済産業大臣の承認を受けずにロシア向けに輸出したロシア人貿易業経営者を、外国為替及び外国貿易法違反の被疑者として検挙しました。

##### ○ 政治団体幹部による道路運送車両法違反事件の検挙

放送宣伝車の新規登録を行うに際し、不正改造の意図を隠し交付を受けた自動車予備検査証を運輸局に提出し、保安基準に適合する自動車と認定させ、自動車検査証の交付を受けた道路運送車両法違反事件で政治団体幹部を検挙しました。

#### 2 情勢に応じた警備実施の徹底及び官民一体となったテロ対策等の推進

公共交通機関、外国公館等の重要施設及び大規模集客施設等に対する警戒警備を徹底するとともに、爆発物原料対策をはじめ、自治体、関係機関、事業者、地域住民等と緊密に連携して行う官民一体のテロ対策を推進しました。

また、サイバー空間の脅威に対処するため、重要インフラ事業者等への情報セキュリティに関する情報提供等を行うなどサイバーテロ対策を推進しました。

##### 【事例】

##### ○ ロールプレイング型訓練の実施

爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者（薬局、ホームセンター、インターネット通信販売事業者等）に対し、不審な購入者の来店等を想定したロールプレイング型の実践的訓練を実施しました。



ロールプレイング型訓練の状況

#### 3 大規模災害等の緊急事態に備えた有事即応態勢の確立

南海トラフ巨大地震の被害想定等を踏まえ、自治体や関係機関と連携した災害対策を推進しました。また、大規模災害の発生を想定した実戦的訓練を反復実施し、対処能力の向上を図るなど、有事即応態勢の確立に努めました。

##### 【事例】

##### ○ 被災地への部隊派遣と実戦的訓練の実施

令和6年能登半島地震や同年9月の石川県を中心とした豪雨災害の被災地に部隊を派遣し、救出救助活動等に当たりました。災害現場での経験を踏まえ、倒壊家屋や土砂崩落現場等を想定した実戦的訓練を実施したほか、令和6年1月17日には、大規模災害発生時における警備体制の早期確立と警備本部運営要領の習熟等を目的に、大震災総合訓練を実施しました。

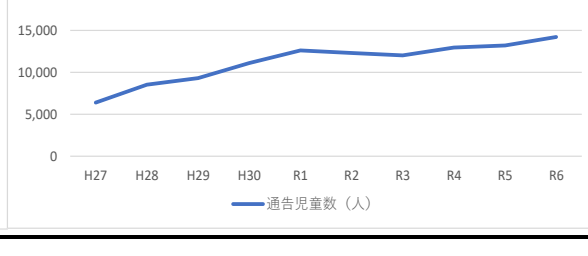
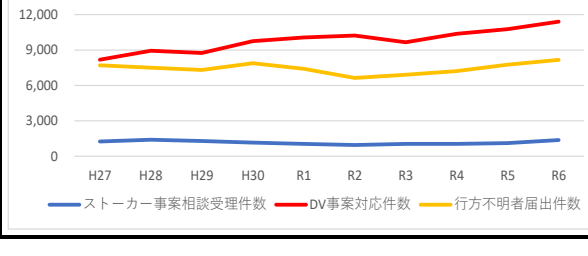
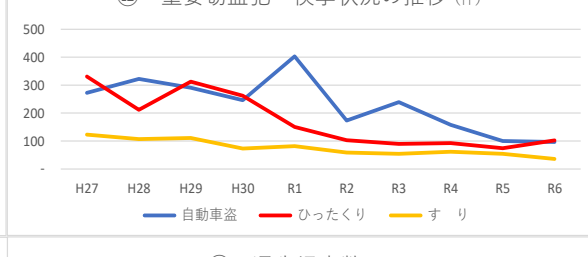
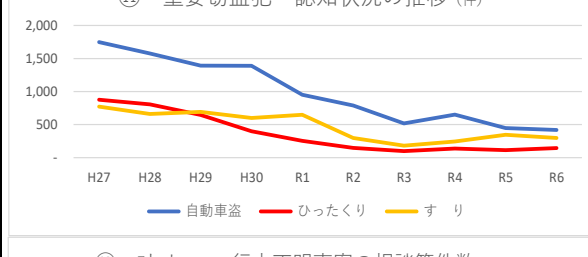
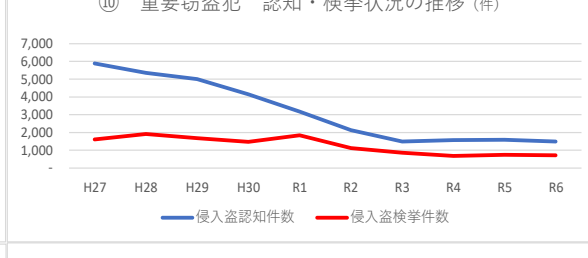
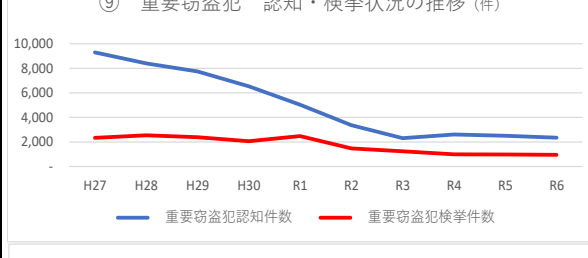
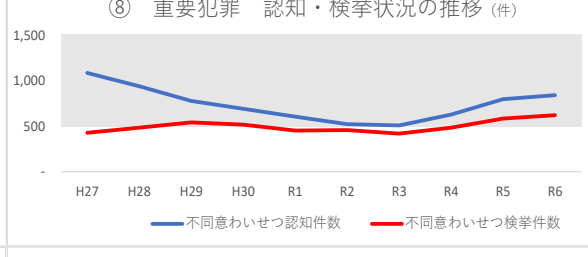
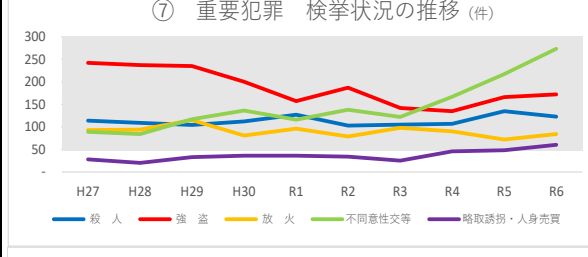
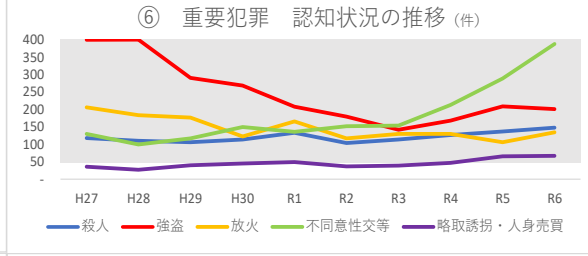
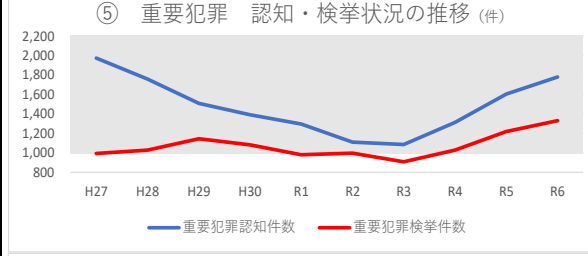
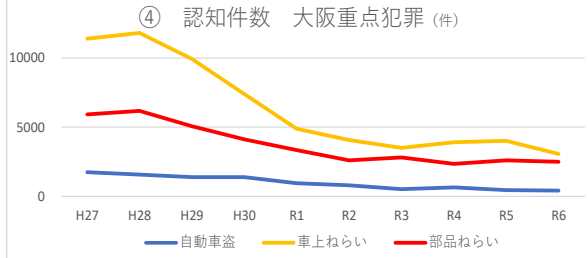
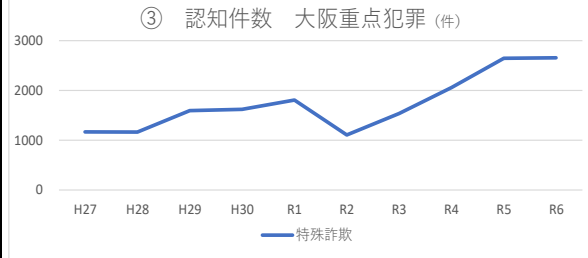
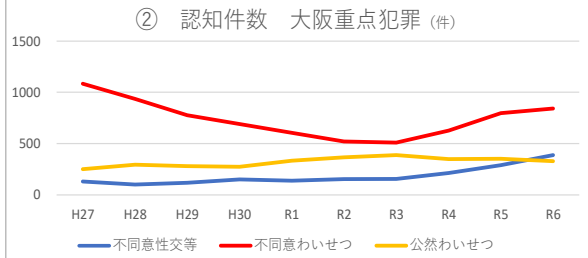
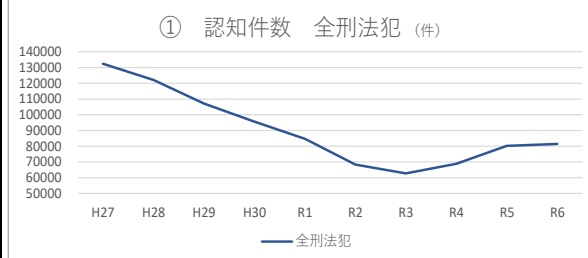


救出救助の状況

# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 参考指標の推移 I

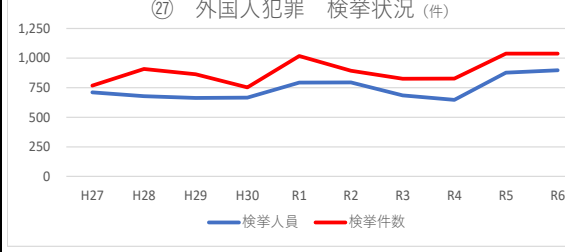
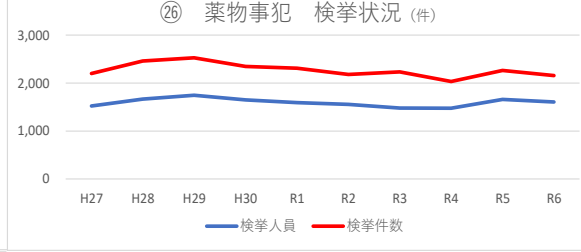
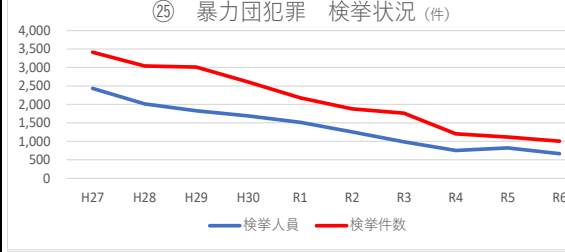
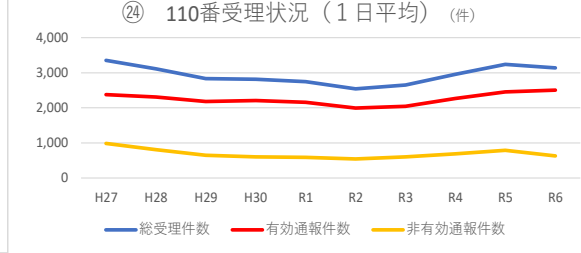
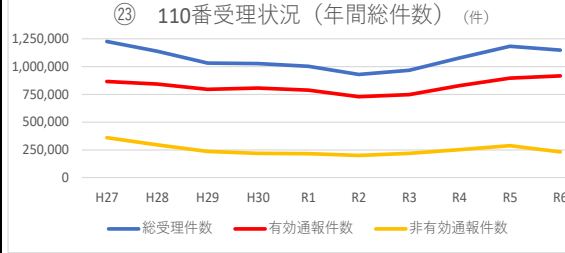
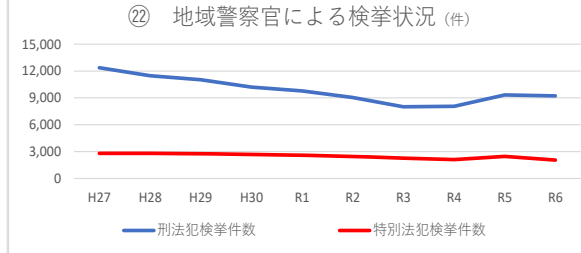
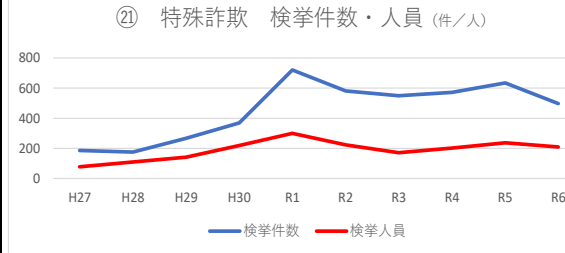
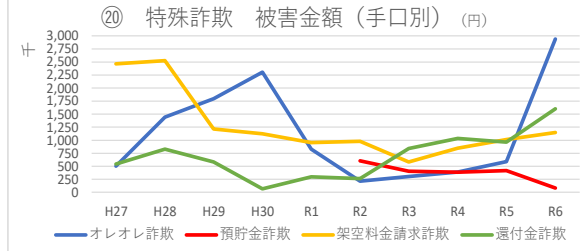
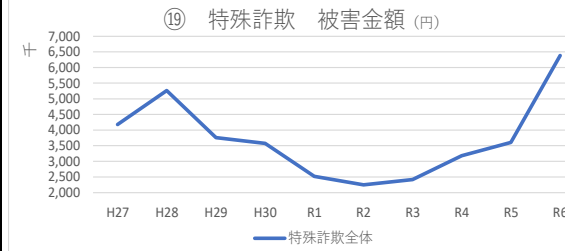
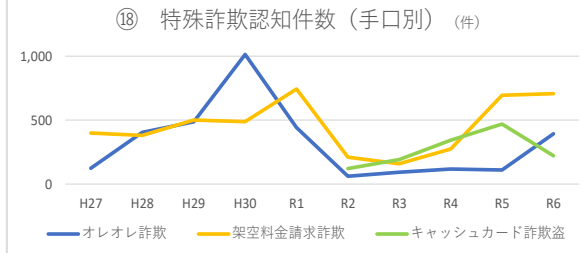
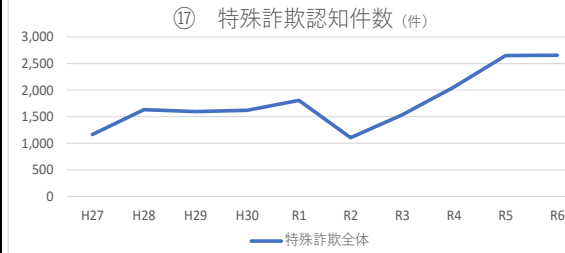
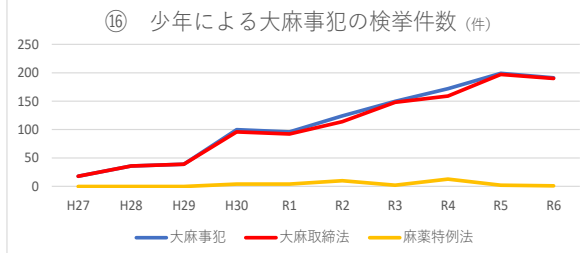
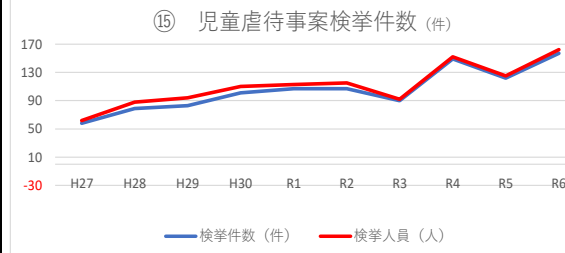
参考指標



# 令和6年大阪府警察重点目標推進結果報告書

## 参考指標の推移 II

参考指標



※ ⑱の「キャッシュカード詐欺盗」及び㉑の「預貯金詐欺」については、統計を開始した令和2年以降の数値を示す。